

2024 年

5 月発行

第31号

特別号

宝同協だより

(宝同協創立50周年記念号)

編集発行：宝塚市人権・同和教育協議会

〒665-8665 宝塚市東洋町1番1号(宝塚市教育委員会事務局 学校教育課内) TEL:0797-77-2040/FAX:0797-71-1891

め ば
芽 生 え



ハートン

宝同協創立 50 周年記念式典プログラム

宝同協会長開式あいさつ 和久 有彦

記念演奏 和太鼓集団 「^{ひかり}熱光」



記念講演 『たった一度の人生だから』

前宝塚市長 中川 智子 さん

実行委員長閉式あいさつ 室崎 俊洋

進行：林 純子 菅 理香 平松 友紀

和太鼓集団「^{ひかり}熱光」



熱光は 1997 年にくらんど人権文化活動推進協議会の呼びかけで、郷土意識の高揚と地域の活性化を推進することを目的に結成されました。

「熱光（ひかり）」の名称は水平社によるわが国初の人権宣言である水平社宣言で謳われている『人の世に熱あれ人間に光あれ』から、命名されたそうです。

太鼓を通して差別に負けない強さ、仲間を大切にする気持ちを育てる事、異世代の人間が一緒になって活動する事で世代を超えた交流や次代を担う青少年育成を大きな柱として、聴いて頂いた方々と一緒に命の大切さや人権とは何かを訴え続けていける演奏を目指されています。

中川 智子さん

1945 年和歌山県那智勝浦町生まれ。短大卒業後、海運会社に就職し、その後ご結婚されました。結婚後は、子育てや介護をしながら、「保育施設キンダールーム」「宝塚学校給食を考える会」「体罰をなくす会」などを立ちあげられ、1994 年にインドネシア元残留日本兵の方との縁で株式会社トレテスを設立されます。

阪神・淡路大震災時には、災害ボランティア団体を結成され活動されました。それがきっかけとなり、1996 年、衆議院議員に立候補し当選されます。2003 年まで2期7年の任期を全うされました。

2009 年、宝塚市の再建をめざし、宝塚市長選へ立候補し当選されます。市民に寄り添った施策を実行され、街づくりのアイディアに女性の視点を取り入れるなど、市政に全力で取り組まれました。3期12年の任期を終えられ、2021 年4月に退任されました。



宝同協の願い

- 1.生まれてきたかけがいのないすべての「いのち」が愛に育まれ、すくすく育ちゆくこと
- 2.年齢や性別、障がいがあるなし、在日や外国籍であろうがなかろうが、病気であってもなくても、過去がどうであれ、すべての市民が違いを認め合い人権を尊重すること
- 3.立場が弱いとか、少数であるとか、他と違うといるとか、また、出身地、学歴、職業、肩書き、心身の状況などの理由によって、いかなる差別もしない、されない社会をつくること



年 度	宝同協のできごと
1955 (昭 30)	宝同協の前身「宝塚市民主文化協議会」(民文)が発足
1959 (昭 34)	宝塚市で全同教定期総会を開催
1973 (昭 48)	「民文」が「宝塚市同和教育協議会」と改称・改組 宝塚市で阪神同教研究大会を開催(長尾中学校) 宝塚市で兵庫県同和教育研究大会を開催(市民会館・勤労福祉会館)
1974 (昭 49)	白書活動を開始
1975 (昭 50)	中学校区別同和問題市民集会開始
1979 (昭 54)	同和問題啓発標語募集開始 宝塚市で阪神同教研究大会を開催(市民会館・宝塚小学校)
1981 (昭 56)	同和問題啓発ポスター募集開始
1984 (昭 59)	宝塚市で阪神同教研究大会を開催(市民会館・宝塚中学校)
1985 (昭 60)	小学校区人権啓発推進委員会発足
1986 (昭 61)	人権作文募集開始
1989 (平 1)	宝同協活動検討委員会設置 宝塚市で阪神同教研究大会を開催(市民会館・宝塚中学校)
1993 (平 5)	宝同協設立 20 周年記念事業
1995 (平 7)	宝塚市で阪神同教研究大会を開催(宝塚中学校)
2001 (平 13)	宝同協検討委員会設置 宝塚市で阪神同教研究大会を開催(宝塚ホテル・宝塚中学校)

年 度	宝同協のできごと
2002 (平 14)	宝塚市人権・同和教育協議会と改称
2008 (平 20)	宝塚市で阪神同教研究大会を開催(末広小学校・教育総合センター)
2009 (平 21)	人権・同和教育推進のための特別委員会設置
2010 (平 22)	人権啓発写真募集開始 宝同協だより「芽生え」発行開始
2011 (平 23)	定期総会でオープニング開始
2012 (平 24)	「人権交流学びのつどい」を開始
2014 (平 26)	宝塚市で阪神同教研究大会を開催(良元小学校・川西高等学校宝塚良元校・西公民館)
2015 (平 27)	役員・代表理事等研修視察開始
2016 (平 27)	シンボルマーク・マスコットキャラクター募集選定
2019 (平 31)	創立 50 周年記念準備委員会設置 啓発作品募集を「ハーとんじんけん作品賞」と命名
2020 (令 2)	定期総会をコロナ感染拡大防止のため中止
2021 (令 3)	定期総会をコロナ感染拡大防止のため中止 阪神同教研究大会(高司中)の開催中止
2022 (令 4)	「10 年後のわたし」作品募集 創立 50 周年記念行事実行委員会設置
2023 (令 5)	宝同協ホームページを開設
2024 (令 6)	宝同協創立 50 周年記念行事

＊ 温 故 知 新 ＊

宝同協に残る古い資料を読んでいると、新たな発見があります。これもその一つです。昭和29年は宝同協の前身「民文」が誕生する前年ですが、その年の兵庫県教育委員会発行の「指導助言の要綱」にこんなことが書かれているのを見つけました。

〔同和教育の振興を阻む理由〕

- | | |
|----------------------|--------|
| ア “寝た子を起こすな” | →無用論 |
| イ “民主教育さえ徹底すれば解決する” | →理想論 |
| ウ “時が来れば解決する” | →楽観論 |
| エ “困難な問題には手をふれるな” | →逃避論 |
| オ “差別事件さえなければそれでよい” | →放置論 |
| カ “重要であるが、それは困難なことだ” | →あきらめ論 |

- | | |
|-----------------------|---------|
| キ “それは、教育の限界を無視したことだ” | →無力論 |
| ク “生活の低位性の向上がまず第一である” | →一方的改善論 |
| ケ “結婚問題さえ解決すれば解消できる” | →通婚論 |
| コ “私がやらなくても誰か他の人が…” | →待機論 |
| “うちの学校がやらなくても” | →待機論 |
| サ “校区内に対象地域がない” | →錯覚論 |
| “うちの学校では同和教育の必要はない” | →錯覚論 |

【和久】